

図工 だより



第7号

府中市立
府中第七小学校
図画工作科
令和 3年
9月17日発行
伊藤 志帆

展覧会にむけて

今回の展覧会は、6年生が「まつば」の時間を使って、会場をよりよくする活動をしています。題材名の表示をつくったり、会場で流すBGMを考えたり演奏の練習したりしています。題材名のデザイン案と、材料のサンプルを担当の先生に確認したり、BGMの楽譜を自分たちで用意して休み時間に自主練習をしたりと、とても感心させています。



一年生 「ふわ

ふわさん」では、まるめたお花紙で絵を描いてい



ます。お花紙の感触を楽しみながら、ポリウムや丸め方など、自分なりに工夫して、思い付いたものを表しています。



「どんな気持ち？」では、同じ名前の絵本を読んで、自分ならどんな気持ちのお魚を描くか考えて、色画用紙を切り貼りして表しています。うろこの形を三角にしたり、使う色をあえて絞ったり、工夫しています。

五年生

「使って楽しい焼き物」では、

夏休み中に素焼きした作品に、陶芸用の絵の具で色塗りや柄を描くなどしています。この後釉薬（ゆうやく）を塗って、本焼きをします。釉薬がきちんと塗られるように、陶芸用絵の具は薄く塗ります。確かめながら塗って、感覚をつかんでいきます。



魚のデザインの子が多かったので、同じような作品になってしまおうかなと、思っていたのですが、塗り方にそれぞれ違いがあり、見比べるととても面白い作品ができました。

三年生



「二十個でつくろう」では、のこぎりの使い方を学び、木をたくさん切っています。そこから、つくりたいものを思い付き、ボンドでくっつけて表していきます。

武器がかっこいいと思えて仕方ないお年頃ですが、「人を傷付けたら迷惑を掛けたりしてはいけませんよ。刀は美術館にも飾られるほど見た目も美しいもの。もしつくるなら、ただのおもちゃではなく、じぶんのかっこいい形や色を、よく考えてつくろう。」という話をしました。



六年生 「まつば」

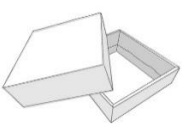
「まつば」の時間を使って展覧会をよりよくする活動をしています。

題材名の表示、BGM、注意書き、写真スポットなど、一学期にアイデア出しをしたものを、実行委員が集約して何をするか決めました。図工での学びを生かして、自分たちで計画的に必要なものを準備してつくっている姿が、とても生き生きしています。



材料集めに ご協力ください

一年生が、十月の図工で



箱を使った工作をします。ご家庭にお菓子の箱などありましたら、伊藤まで、お渡しください。なるべく厚みのあるものをお願いいたします。

四年生 「五秒のかべをこえろ」では、段ボールでビー玉転がしのコースを作っています。できるだけ長く転がすために、コースを長くしたり、傾斜をゆるやかにしたり、コースに凹凸をつけたりしています。



コースをつくるのは意外と難しいですが、どうしたら自分のイメージが形になるか、懸命に工夫して作っています。